

「竹駒奴」

岩沼と言えば、日本三稲荷の一つ「竹駒神社」。毎年の初午の日に行われる「竹駒奴」

は市の無形文化財に指定されており、この祭りに毎年参加されている村上さんにお話を伺いました。竹駒奴のハイライトが重量8kgの長い毛槍を、2人1組で相手へ投げ渡すところ。私も持たせて頂きましたが、実際に持つと見ているよりずっと重く、また槍が長いのでバランスを取るのがかなり難しい。槍を持って、ただじっと立っているのも至難の業。それを村上さんが御年〇〇歳でありながら軽々と持ち上げる様は、まさに職人芸だと思いました。岩沼の総勢7名の皆さんにインタビュースせて頂きましたが、村上さんへのインタビュールが一番印象に残っています。

竹千代「村上さん、岩沼の名物ってあるんですか？」

村上「おう、もちろんいっぺえあるよ！」

竹千代「例えは何ですか？」

村上「…そう言われると、何も出てこねえな」

竹千代「じゃあ岩沼の方言でありますか？」

村上「方言はそりあいっぺえあるよ！」

竹千代「例えは何ですか？」

村上「…そう言われると、何も出てこねえな」

竹千代「岩沼のいいところは？」

村上「いいところはいっぺえあるよ！」

竹千代「例えは？」

村上「…そう言われると…」

これを10回くらい繰り返しました。何ていい加減な性格なんだ笑と思って面白かったのですが。槍投げると、なげやりな性格になるのかななんて。

村上「…とうとうこの日が来た。」

尾畑「何だよ村上、この日が来たってのは？」

村上「今年の初午だよ。この日を待ってた。」

尾畑「初午って竹駒奴？ 今年も出るんだろ。すごいよなあんな重たい槍を投げ合いつつして。とてもおれにはできねえよ。で、初午で何すんだよ？」

村上「お前、本郷知ってんだろ？」

尾畑「おれたちの中学の同級生の本郷だろ？」

村上「オレ、中学の時あいつにイジメられてたんだよ。」

尾畑「知らなかったな。」

村上「ほら、二木の松あんだろ？」

尾畑…岩沼の数少ない観光名所の一つじゃねえか。

村上…本郷のやつ、いじめっ子の親玉でさ。ある日「二木の松へ登れ、登らねーとイジメるぞ」って脅されたからいやいや登ったんだよ、それで上の方に生える枝つかもうとしたら滑って掴めずに落ちちゃってさ。あのやろ、枝にかわむらのコロツケの油を大量に手づかみで食ってそれを枝になすりつけて、枝をベトベトにしてやがったんだ。で滑って二木の松の枝の分かれ目で思いっきり股間打っちゃって、悶絶してるところをみんなで笑いモンにされたんだ。あの時の悔しさがずっと残ってていつか本郷の野郎に復讐してやろうとずっと考えてたんだよこの20年。

尾畑…長いこと根にもったな。20年の間にも復讐のチャンスあっただろ？

村上…色々考えたよ。あいつの目薬に塩酸入れてやろうとか、飼ってる犬に玉ねぎ食わせようとか、あいつの生まれたばかりの子供にはちみつ飲ませようとか。

尾畑…発想が面白いよ。

村上…でもやっぱりのあの時のオレと同じような目に合わせるのが一番だと思って。それが竹駒奴だよ。

尾畑…どゆこと？

村上…ほら、竹駒奴は2人1組で毛槍を投げて相手に渡すだろ？今年のペアがオレと本郷なんだよ。オレは予め祭りの前にかわむらのコロツケを大量に手づかみで食って手をベトベトにしておいてそれで毛槍をもって、槍を油まみれにして本郷に投げるんだよ。そして油で滑ってうまく受け取れずに地面に槍を落とすだろ。今まで竹駒奴で槍を落としたやつなんか見たことねーだろ？ あいつは槍を落とした縁起でもないやつとして生涯笑いモンになるってわけよ。

尾畑…また陰湿なこと考えたな。

村上…向こうが先にやったんだからな。神様の前で恥かかせてやんだ。きつと稲荷さんもあいつのイジメにはずっと怒ってたはずさ。稲荷だけにコンコンとな。

尾畑…うるせーな。
村上…見てろよ本郷。20年越しの成敗だ。

さあ祭りの当日となりました、村上は予定通りかわむらのコロツケを一生分ほど買い込んで、両手をこれでもかと油まみれにして竹駒奴に参加します。

竹駒奴一同…エヤコレワエサーサーエイヤオーエ！

村上…よーし、ついにこの日が来たぞ。コロツケ58個食ったからな。手ギトギトだ。自分が槍を持つのも大変だぜ。練習の時もちゃんと演技したからな、めっちゃ笑顔でふるまって、練習後はお互いにマッサージしたり、2人で飲みに行ったり、おれたち実は親友なのかなんていうくらい。本郷って実はいいやつかもなんておもったり…いやいや、これは復讐の序章に過ぎない。一旦いい思いさせといて、地獄へ突き落とす。20年前のあの恨みを

忘れない。よし、間もなく槍投げだ。見てろよ本郷、これが20年越しの復讐だ。

エヤコレワエサーサーエイヤオーエ！ さあ本郷、公衆の面前で恥をかけ。そーれ！

(槍を投げる)

本郷…：何だコレ、掴めないぬるぬるだ！ ああっやばい！！

村上…(槍が倒れてくる)…うおー！！！！ ゴチーン！！！！ バタン！

尾畑…村上！ 村上！

村上…：尾畑？ ここは…？

尾畑…よかったよおまえ。ここ病院だよ。

村上…いたた…病院？

尾畑…おまえ竹駒奴で本郷に油まみれの槍を投げたろ？ あれで本郷の手が滑って受け取れなくて、重たい槍がお前の頭に思い切り落ちたんだよ。それでお前今まで気失ってたんだ。

村上…そうだったのか…おれは本郷に復讐できたのか？

尾畑…復讐どころか皆お前の方が心配になって、それどころじゃなかったよ。復讐とはいえ、神様の前でそんなことしたから、きつとバチ当たったんだよ。

本郷…村上、大丈夫か？！

村上…：本郷、来てくれたのか。

本郷…すまない！ おれが毛槍を受け取り損なっただばかりにお前をこんな目に遭わせてしまってる…

村上…：いや、違うんだ。オレ20年前にお前にイジメられて皆に笑いモンにされた時のことずっと根にもつててさ、わざと槍を油でベトベトにして掴みづらくしたんだ。そうしてお前が槍を地面に落とせば、皆の笑いモンになって恥かくと思ってる。んなことしたからバチ当たったんだ。

本郷…20年前…そうか、「二木の松に村上の股」人呼んでマツマタ事件の時か。

村上…そんなタイトルが付いてたとはな。

本郷…でも…ガキの頃の話しとは言え、イジメたのはオレだ。だからオレが悪い。本当に、すまなかった。

村上…オレの方こそ、いつまでもつまらねえ話ずっと気にしてて悪かったな。

尾畑…：パチパチパチ(拍手する)よかった、よかった。仲直りだな。

村上…尾畑…。

尾畑…竹駒奴はさ、オレたちに一番大切なもの、ずっと伝えてくれてるのかもな。

村上…何を？

尾畑…思い遣り(重い槍)だよ。